

ドイツ語講座のご案内

10月から03後期のドイツ語講座が始まります。

I. A B Cからのドイツ会話コース【全20回】

講師 Simone Kern 先生

テキスト Themen Neu 1

今回は募集無し

II. ドイツ会話コース【全20回】

講師 Simone Kern 先生

テキスト Sprachkurs Deutsch 3

Das doppelte Lottchen

今回は募集無し

III. ドイツ語原書講読コース【全20回】

講師 松野義明 先生

テキスト Thomas Mann

4名募集中

“Tonio Kröger”

日程 10/4～04/3/29【全て土曜日】

会場 藤沢カトリック教会202室(藤沢小田急裏)

会費 全コース 6ヶ月(20回)

40,000円(湘南日独協会会員)

45,000円(一般参加)

※テキスト代は別途となります。

定員 各クラス10名

【各クラスの時間割】

コース	時間
A B Cからのドイツ語会話コース	10:30～12:30
ドイツ語会話コース	13:00～15:00
ドイツ語原書講読コース	15:10～17:10

受講申込のご案内

【申込先】

湘南日独協会 ドイツ語講座担当(松野/古橋)

〒251-0055 藤沢市南藤沢8-9 中丸ビル2F

TEL 0466-26-3028 / FAX 0466-27-5091

湘南日独協会 2003-4 年度活動予定

2003年 湘南日独協会・創立5周年を迎えます。

■ 10月25日(土) 会員懇話会 18:00～

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fローズルーム

■ 11月22日(土) 第30回例会

演題 講演会 バレエ「くるみ割り人形」をめぐる

ー日本バレエの現状と展望とー

講師 乃羽ひとみ氏(乃羽バレエ団主宰)

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fロータスホール

■ 12月20日(土) 湘南日独協会創立5周年記念

《バレエ特別公演》

くるみ割り人形

会場 藤沢市民会館大ホール

出演 乃羽バレエ団

湘南エールアンサンブル

湘南日独協会混声合唱団「アムゼル」

……………2004年……………

■ 1月24日(土) 第31回例会

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fロータスホール

■ 2月28日(土) 会員懇話会 18:00～

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fローズルーム

■ 3月27日(土) 第32回例会

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fロータスホール

湘南日独協会会報 (Der Wind)

VOL 5 . NO. 5 . 通巻29 . 発行 2003. 9. 27.

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局：〒251-0055 藤沢市南藤沢8-9 中丸ビル2F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

湘南日独協会 第29回例会

■ 9月27日(土) 講演会

演題 「くるみを割る人形のメルヘン」

ーバレエ『くるみ割り人形』にちなむ

ドイツの文学と民族の物語ー

講師 宮下啓三氏(ドイツ文学者)

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fロータスホール

講師からのメッセージ 湘南日独協会の誕生5周年を記念

して、湘南の少年少女たちを軸にするバレエ団が『くるみ割

り人形』を演じてくれることになりました。そこで、前祝

いを兼ねて、この作品にひそんでいる様々の事柄を語ろうと思

います。クリスマス イブになぜクルミ割り人形とネズミが

登場するのか。これには民俗学のテーマとなるほどの意味が

含まれています。なぜネズミなのか、なぜクリスマス イブ

の夜なのか。その意味を探てみると、ドイツ人の古い風習

や民俗が浮かび上がってくるばかりでなく、ヨーロッパの南

と北のちがいが重なり合って見えてきます。原作であるホフ

マンの物語そのものがメルヘンであるのですが、チャイコフ

スキーの名作『白鳥の湖』も、ドイツ人の書いた話にヒント

を得て作られました。バレエとドイツ文学の縁の深さを知っ

ていただく絶好のチャンスでもあります。

協会の会員だけでなく、会員のお子さんやお孫さんである

人たち、そしてまだ会員になっていないけれどもドイツの文

学と音楽と民俗にふれてみる機会を持ってみようとお思いの

方にも席を提供したいと私は願っています。



素敵だった乃羽バレエ団のショー

ドイツフェアで 夏がはじまる！

会員 大沢由美子

北国育ちの私は「復活祭の遅い年は春がおそい」ということを信じてきた。今年は「ドイツフェアの遅い年は梅雨明けが遅い」ということを知らされた！例年より1週間ほど遅いドイツフェア。待ち遠しい毎日だった。

いよいよドイツフェアの開会。梅雨明け宣言もあり、ビールを飲むには最高だ。例年のことながら、シュバルベの演奏と梶井智子さんの歌にはうっとりとしてしまう。全員合唱も楽しかった。他人様のすばらしい声が自分の声のように聞こえ自分の声(本当は誰かの美声)に酔いしれ、ビールの酔いも手伝って長坂さんの指揮に乗せられて、どんどん大声になっていく。あのピア樽ポルカ、もう一度歌いたかったな。

大好きな抽選会。一度も当たったことはないのだが、川本さんの司会がとてもいいのだ。提供された賞品の説明はすっかりスポンサーになりきっている。説明はもういい、早く抽選してという我々の心理を巧みに見極めながら進めていく。このタイミングが何とも言えない。ペア宿泊券の時などは、当たった先のことまで心配してくださる。(ご心配なく、一緒に行く人はいる

のよ)メガネの奥で笑っている目が、「次はあなたに！たりますよ」と言っているようで、ついつい期待してしまうのだ。たくさん賞品があるとはいえ、1時間近くも楽しませてしまう川本節に魅了されてしまう。

2000年のドイツフェアに参加した折に、川本さんに声をかけられ日独協会に入会することになってしまった。今回も川本さんに声をかけられ受付のお手伝いをする羽目になってしまった。4時に会場に行った時には、たくさんの方が働いていて、ほぼ、準備は完了していた。ドイツフェアのために、陰でご尽力下さっている方々に、感謝いたします。

2005のドイツ年も楽しみ

武田紀久子

湘南日独協会「2003ドイツフェア」に、父のお供をして出かけたのは、待ちに待った梅雨明け宣言が発表された8月2日(土)のことでした。父娘ともども心密かに海外通を自認しておきながら、今までご縁のあった国といえば、実はアメリカやラテンとの名のつく所ばかり。文化、歴史とも非常に奥深いドイツに対しては、「苦手科目」意識が少なからずあったのですが、それが一夜にして吹き飛ぶ、楽しい楽しい夕べになりました。



合唱団「アムゼル」の歌が響く



楽団「シュバルベ」の演奏で盛り上がる

食いしん坊一家のことですから、何はともあれ先ずドイツ料理。「乾杯の歌」に誘われた父は、レーベンプロイを何杯もおかわりし、私も負けじと、ダイエットを一旦放棄して、ジャーマンポテトやソーセージなどを頬張って……。と、そうこうするうちに、いよいよショータイムが始まり、“花より団子”的父娘も箸を休め、湘南日独協会「アムゼル」合唱団の素晴らしいハーモニ、乃羽バレエ団の皆さんの可憐な舞い、そして、楽団「シュバルベ」の音色ソプラノ歌手梶井智子さんの洗練された歌声に聞き惚れたのでした。

しかし、バラエティに富む「ドイツフェア」の企画はこうした鑑賞だけに止まらず、その後は抽選会(父は白ワインを頂戴しました！)、そして、締めくくりは「ピア樽ポルカ」の全員合唱と相成り、気象庁お墨付きの“真夏”の夜は瞬間に過ぎていきました。

今年の夏はその後、世界的に荒れ模様の天気が続き、日本では記録的な冷夏、そして、ドイツでは、熱波・旱魃が拡大する深刻な事態になっています。ドイツに様々なご縁のある「湘南日独協会」の皆様と心同じく、同国の農作物被害等にお見舞い申し上げ、また、こうしたフェアに参加する機会を与えて下さった理事の西澤様に深く御礼申し上げつつ、拙文の締め括りとさせていただきます。すっかりドイツファンになった私は、2005年「日本におけるドイツ年」を今からとても楽しみにしております。 (了)